



2023年9月20日

「工芸のまち、盛岡」を楽しむ3日間
北のクラフトフェア MORIOKA 2023が開催されます
～同時開催「Meets the Homespun 2023」、「北クラキッチン」～

manorda いわてが協賛する「北のクラフトフェア MORIOKA 2023」が10月7日（土）から盛岡市の岩手公園（盛岡城跡公園）にて開催されますのでお知らせいたします。

本フェアは、全国のクラフト作家の作品を展示販売するイベントとして昨年初開催し約3万人が来場するなど大変好評をいただきました。今年度も工芸品の展示販売のほか、クラフトに関するトークセッションやライブイベントが開催されますので、みなさまにはぜひ公式ホームページをご覧ください、「工芸のまち、盛岡」にお越しくください。

また、盛岡市では「人」が中心となり居心地が良く歩きたくなる「ウォークアブルなまち」を目指しています。岩手銀行グループとしても岩手銀行赤レンガ館を中心に新たな地域の賑わい創出に取り組んでおり、来訪されるみなさまに街を回遊して楽しんでいただくため、ホームスピンの祭典「Meets the Homespun 2023」や本フェア会場の対岸で開催する地元飲食店による飲食イベント「北クラキッチン」の開催など、関連イベントの運営を積極的にサポートしてまいります。

弊社では、これからも周辺地域や地元事業者のみなさまと連携しながら、地域のにぎわい創出に取り組んでまいります。



【北のクラフトフェア MORIOKA2023】

■ 日時・場所

① **クラフト DAY** 2023年10月7日（土）、8日（日） 10:00～16:00 雨天決行

岩手公園（盛岡城跡公園）芝生広場（盛岡市内丸一丁目1番37号）

② **トーク DAY** 2023年10月9日（月・祝）

盛岡劇場メインホール（盛岡市松尾町3番1号）

■ 内容

詳細は別紙チラシをご確認ください。

■ 公式ホームページ



<https://kitanocraft.com>



【Meets the Homespun 2023】

■ 日時・場所

2023年10月7日（土）、8日（日） 10:00～16:00
岩手銀行赤レンガ館（盛岡市中ノ橋通一丁目2番20号）

■ 内容

作り手それぞれのブースで、盛岡市内の工房やその門下生らの織り上げたホームスパン製品などを展示販売いたします。またホームスパン継承と作り手育成をめざす団体「いわてホームスパンユニオン」や「ホームスパン産地・いわて」を紹介する展示も行います。詳細は別紙チラシをご確認ください。

会場の一角では、岩手銀行が創立90周年プロジェクトとしてグループ全体で取り組んだ新しいビジュアルアイデンティティ「いわぎんタータン」について紹介する展示も行います。

■ MOYANE新商品販売会

「もりおかやっぱいいよね」を合言葉に、盛岡のお店と地元のデザイナーが立ち上げた盛岡お土産プロジェクトの商品MOYANE（モヤーネ）を販売いたします。当日は発表されたばかりの新商品も販売いたします。



【北クラキッチン】

■ 日時・場所

2023年10月7日（土）、8日（日） 11:00～16:00 雨天決行（北のクラフトフェアが中止となった場合は本イベントも中止となります。）

※食材が売り切れた場合には早期に終了することがありますのでご了承ください。

「おでって前広場」および「中津川会場（いわぎんリース駐車場）」

■ 内容

地元で愛されている、おいしい料理が自慢の飲食店が大集合します。地酒や地ビール、そして特選されたナチュラルワインも堪能いただけます。

【出店事業者（予定）】※変更の場合あり

会場	店舗名
おでって前広場	吟の酒 きぶね
	焼処 いく
	海ごはん しまか
	吉浜食堂
	pullassaggio
	comfort dining DADA
	東家
	サリサリカレー盛岡

会場	店舗名
中津川会場	みちのくコカ・コーラボトリング (株)
	コリアンキッチン かじゃな 《10/8のみ》
	大槌酒場 楽酔
	RHINO
	ヌッフ デュ パブ
	ベアレン醸造所
	里伊～SAI～
	山ん
	SUNDANCE 《10/7のみ》
	たご焼 るれろ
	シュパーゲル
	握り飯 銀香

■ その他

イベント期間中、会場西側（中津川沿い）の市道は車両通行制限等の交通規制が入ります。周辺施設をご利用のみなさまにはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

担当：本間（北のクラフトフェア MORIOKA2023、Meets the Homespun 2023）

菅原（北クラキッチン）

電話番号 019-624-8100

以上

北のクラフトフェア

Northern craft fair

MORIOKA 2023

クラフトDAY (クラフト作品の展示販売)

雨天決行

10月7日 [SAT]・8日 [SUN]
10:00-16:00 9:00-16:00
最終入場 15:30

会場/岩手公園 (盛岡城跡公園) 芝生広場
(岩手県盛岡市内丸1-1-37)

トークDAY ※9日はクラフトの展示販売はございませんのでご注意ください

9日 [MON・祝日] 盛岡劇場メインホール
(岩手県盛岡市松尾町3-1)

岩手県盛岡市で開催・「北のクラフトフェア」とは

市民有志が企画・運営を行い、盛岡市のご協力をいただきながら、2022年に第一回を開催。およそ30,000人の方々にご来場いただきました。イベントを通して公園をよりよい場所とするとともに、良質な工芸と出会う場を新たに創出し、「工芸のまち、盛岡」を発信してまいります。今年もまた、秋の盛岡でお会いしましょう。



クラフトフェア会場
岩手公園 (盛岡城跡公園)内

会場入口までのアクセスにはバスの利用をお勧めします (駐車場はございません)。
・盛岡駅より/岩手県交通 盛岡バスセンター (BC) 行、または盛岡中心市街地循環バス『でんでんむし』左回り「県庁・市役所前」下車、徒歩3分
・盛岡バスセンターより/徒歩5分



ホームスピンの祭典
Meets the Homespun
主催/いわてホームスピユニオン

同時開催

7・8日 10:00-16:00
会場/岩手銀行赤レンガ館

手紡ぎ手織り「ホームスパン」の聖地・盛岡。マフラー、ストール、ブランケットなどおよそ20工房の作品が一堂に揃います。

公式webストア

ミナ パルホネン制作の公式グッズ、イベントチケット販売
<https://kitanocraft.stores.jp>

北のクラフトフェア 2022 記録集
トークセッション書き起こし
「ことばの記録。」 ¥1,320 税込
今年参加するための予習にお勧めします

インスタ企画
「旅とクラフト」
更新中

盛岡ヒギナーのための街歩きコースや盛岡名物など、いずれも会場の「岩手公園」から徒歩30分圏内で体験できるトピックを集めた地図を公開中!

主催/北のクラフトフェア実行委員会 info@kitanocraft.com
木村敦子・水野ひろ子 (株式会社クラシカウシナル)、加賀谷真二・加賀谷奈穂美 (carta)、岩井洋由子 (岩井沢工務所)

協力/安部智穂
後援/盛岡市、盛岡市町商店街振興組合、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、テレビ岩手
協賛/株式会社ミナ、manordaいわて株式会社、株式会社モナカ、東北住建株式会社、有限会社岩井沢工務所、三田農林株式会社、クロステラス盛岡、岩手県酒造組合、NTT 東日本岩手支店
東家、株式会社ベアレン醸造所、PanoPano、パルクアベニュー・カワトク、肴町365、株式会社マルノ、株式会社佐々木電機本店、トラベル・リンク株式会社、盛岡バスセンター/HOTEL MAZARIUM、オオツカヨウ建築設計、南部鉄器協同組合、東北銀行、株式会社ラヂオもりおか、株式会社ヘラルドビー、IBC岩手放送、IGRいわて銀河鉄道、atelier meie、盛岡信用金庫、松稔、有限会社清水畑建設、Holz Furniture and interior、合同会社ホームシックデザイン (順不同)

北のクラフトフェア ロゴマークデザイン/菅川明、フライヤーデザイン/kids (木村敦子)

クラフトDAY

7日 [SAT]・8日 [SUN]

審査によって厳選された全国のクラフト作家たち124組が、それぞれのブースで自らの作品を展示販売します。出展作家リストは公式サイトをご覧ください。雨天決行です。

北のクラフト楽団
東北に原風景を持ち、全国各地で活躍する音楽家たちが集ったスペシャルワークショップもあります。

トークDAY

10・9の日

9日 [MON・祝日]

会場: 盛岡劇場メインホール (岩手県盛岡市松尾町3-1)
※駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください

開場: トーク① 10:30、トーク②/③ 12:30

クラフトへの熱と、これからを語る。

① 11:00-12:00
オープニングトーク
チケット 1,100円

パネリスト/審査員6名全員

北のクラフトフェア感想トーク。それぞれが見た2日間をまだ熱が冷めやらぬうちに語っていただけます。参加者からの質問もあり。

【チケット】
下QRコードよりご購入ください。

②と③は通し券 2,200円
(途中休憩有り・出入り可)

② 13:00-14:00
「モノと眼」

パネリスト/
日野明子・ナガオカケンメイ

つくる、選ぶ、使う。そこに変わらないのは、「人の眼」に他なりません。ものづくりの現場で何を見出すのか、暮らしにどう取り入れていくのか。土地に育まれる眼とクラフトとの関わりなど、産地を訪れる機会が多いお二人の話を伺います。

【F/style 五十嵐恵美さん・星野若菜さん】
五十嵐恵美 1978年、星野若菜 1979年、ともに新潟生まれ。東北芸術工科大学を卒業した2001年春、地元新潟にて「エフスタイル」を開設。「製造以外で商品が流通するまでに必要なことはすべてやってみることに」をモットーに、デザイン提案から販路の開拓まで一貫して請け負う。主な仕事は、山形の月山級通とのコラボレートによるマットシリーズや、新潟の伝統工芸品シナ織りのバッグ等。

【光原社 川島富三雄さん】
宮沢賢治の代表作『注文の多い料理店』を出版し、のちに民藝店となり歴史を重ねてきた「光原社」の初代店主・及川四郎の孫として盛岡市材木町に生まれる。東京造形大学で学び、呉服店での修行を経て仙台市にて「光原社せんだーど」を立ち上げ、2021年より株式会社光原社の代表取締役を務める。柚木沙弥郎を始めとする作家との信頼関係も厚く、全国の民藝店を牽引する存在となっている。

【日野明子さん】
ひとり間屋。1967年神奈川県生まれ。共立女子大学家政学部生活美術学科在学中に教授であった秋岡芳夫氏の影響を受ける。松屋商事 (株) (百貨店松屋子会社・1998年に解散) にて北欧テーブルウェアおよび国内クラフト/工芸品の営業を経て、1999年独立。スタジオ木瓜を設立。一人で間屋業を始める。ショップと作家・産地をつなぐ間屋業を中心に、テーブルウェアを主体とした生活に関わる日本の手仕事・地場産業の展示会や企画協力、アドバイザーを行う。

【ナガオカケンメイさん】
デザイン活動家。1965年北海道生まれ愛知県育ち。ロングライフデザインをテーマに「長く続いている大切なこと」を「デザイン」を通じて紹介、販売する店である「D&DEPARTMENT PROJECT」を2000年に創設。現在は国内11カ所、国外3カ所に展開。2009年、デザイン目録の旅行文化誌『d design travel』発行。2012年より日本初のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」館長。2013毎日デザイン賞受賞。www.nagaokakenmei.com

北クラキッチン
by manordaいわて × 東家

7・8日 11:00-16:00
会場/プラザおてって前広場ほか
地元で愛されている、美味しい料理が自慢の飲食店が大集合! 地酒や地ビール、そして特選されたナチュラルワインも堪能いただけます。

岩手クラフトツアー もりおかさんぽ
主催/トラベル・リンク株式会社

ちょっと足をのびして県内のクラフトを訪ねるショートトリップ。盛岡の中心部に残る昔ながらの工房やセレクトショップ、レトロなまち並みもご案内します▶

ホホホの森探検隊
子どもたち集まれ!

小さな箱庭づくり (当日参加可) や、岩手公園の自然を楽しむネイチャーアート (予約制) など、親子でどうぞ。参加申し込みは9/10より。詳細は専用サイト▶

ライブイベント


8日 [SUN] 優河 with 魔法バンド LIVE in MORIOKA

会場: 岩手県公会堂大ホール (岩手県盛岡市内丸11-2)
開場 18:00 / 開演 18:30
チケット発売中 5,000円 / 300席 (自由席)

心を震わせる存在感に満ちた歌声、紡ぎ出す心象と心情の描写で織りなす独自の世界観が高い評価を得ているシンガーソングライター 優河 (yuga) と 2018年以來共演を続ける盟友の“魔法バンド”が北のクラフトフェアライブで演奏します。今年はフジロックへの出演も果たし、ソアラティストとしても活躍する敏腕たちが揃うバンドメンバーとのケミストリーが高まっている真っ只中。岩手県公会堂の大ホールに響く「優河 with 魔法バンド」の織りなす壮大なスケールの魔法、音世界を体感してください。

【優河 with 魔法バンド】 優河 (Vo.Gt) / 千葉広樹 (B) / 岡田拓郎 (Gt) / 谷口雄 (Key) / 神谷洵平 (Drs)

【チケット】 <https://kitanocraft.stores.jp> (左QRコード) よりご購入ください。
【ライブ専用お問合せ】 メール live@kitanocraft.com TEL: 080-5426-0611 (加賀谷真二 / carta)
ライブ制作: 加賀谷真二、加賀谷奈穂美 (carta)



③ 14:15-15:15
「モノと手と心」

パネリスト/
皆川明・三谷龍二

デザイナーや作家として、ものづくりの現場で活躍するお二人に「ものづくり10のカエシ」を用意。モノをつくる熱量や心の置きかた、モノの美しさ、生活とクラフトの話、現在の興味関心などを伺います。

【皆川 明さん】
デザイナー。1995年にブランド minä perhonen (2003年まではminä) 設立。手作業で描かれた図案から作るオリジナルファブリックによるファッション、インテリア等で注目を集める。ストーリー性のあるデザインと、産地ごとの作り手の個性を活かした、長く愛用されるものづくりを目指す姿勢はブランド設立時から一貫している。個人の活動として、国内外の様々なブランドとデザインを通じての協業を精力的に続ける他、新聞や書籍への挿画、宿のディレクションなど活動は多岐にわたる。

【三谷龍二さん】
木工デザイナー。陶磁器のような普段使いの木の器を作り、それまで家具中心だった木工に、新たな分野を開く。また、漆では、赤と黒の伝統色に「白漆」を加え、現代の暮らしに合う漆器の世界を作る。他に、日常から拾い上げた親密性の高い絵画や立体作品も制作する。木の器展多数。1985年より「クラフトフェアまつもと」(松本市) 発足より運営に参加。「瀬戸内生活工芸祭」「六九クラフトストリート」など、「工芸と暮らしを結ぶ」活動を続ける。2011年、松本市内にギャラリー10cmを開店。



ホームスピンの祭典

Meets  the
Homespun
2023

ホームスピンの祭典 Meets the Homespun 2023

10.7^{sat}・8^{sun} 10:00-16:00 入場無料

会場／岩手銀行赤レンガ館

岩手県盛岡市中ノ橋通1-2-20

【出展作家】

中村工房	HAMAL
みちのくあかね会	原しおり
田中祐子	mää-mää homespun
森由美子	小山牧子
キムラタイコ	昆なつみ
富樫由紀子	高橋藍
	ひつじがりや

●展示・実演コーナー

出展作家を含む、県内20事業者のいわてホームスパンユニオン会員紹介、岩手のホームスピンの歴史パネルの展示、糸紡ぎの実演を行います。

主催・運営／いわてホームスパンユニオン
協力／岩手銀行、manordaいわて株式会社
事務局／株式会社クラシカウンスル

「Meets the Homespun」は、ホームスパン産地・岩手で隔年開催されるホームスピンの祭典です。第4回目となる2023年は、作り手それぞれのブースで、盛岡市内の工房やその門下生らの織り上げたホームスパン製品、手織りやフェルト、羊まわりの小物、アイウール（県産羊毛）製品を展示販売。その多様性を見て触って対話して、羊毛の力を感じてください。

また同会場内で、ホームスパン継承と作り手育成をめざす団体「いわてホームスパンユニオン」や「ホームスパン産地・いわて」を紹介する展示も行います。ファッションや生活用品が、よりサスティナビリティな素材を取り入れ、長く愛用できる1着が着目される昨今。大正期から100年作り続けたホームスパンを、次の100年につなげるため、岩手の作り手と使い手がつながる場にしていきたいと考えます。

詳細は▶ [ミーツ ザ ホームスパン 公式サイト](https://homespun2023.kurashi-co.com)
<https://homespun2023.kurashi-co.com>

